

「中核市サミット 2024 in 秋田」及び「中核市市長会議 in 秋田」について

■要旨

- 中核市の市長（代理含む）が一堂に会し、中核市サミット(10/31)及び中核市市長会議(11/1)が秋田県秋田市で開催された。
- 中核市サミットでは、ゼロカーボンシティの実現、再生可能エネルギーの地産地活^{ちかつ}、まちの魅力・文化価値の再発見と創造といった課題について意見交換を図り、「寛容でしなやかな感性を持つ『ひと』を育み、溢れる想像力で『まち』の個性と魅力を磨き上げ、心豊かで希望に満ちた『くらし』の未来を創っていく」との秋田宣言を採択
- 基調講演では、東京大学の荒川 忠一 名誉教授が、「洋上風力発電は気候変動対策の切り札であり、地域活性化にもつながる」と述べられた。
- 中核市市長会議では、中核市市長会提言等 4 件を採択



【中核市サミット秋田宣言】

《中核市サミット秋田宣言 2024：概要》

- ゼロカーボンシティの実現とともに、エネルギーの地産地活を進め、新たな産業や雇用の創出など経済と環境の好循環を生み出すことにより気候変動対策を推進
- 地域の歴史や文化を生かした芸術文化活動の推進を通じて地域資源を掘り下げ、まちの魅力を再発見し、新しい文化や価値の創造に取り組み、地域の特色を生かした芸術文化の振興を推進

【基調講演】 東京大学名誉教授 世界風力エネルギー学会 副会長 荒川 忠一

《演題：洋上風力発電によるカーボンニュートラルと地域振興》

- 風力発電は再生可能エネルギーのトップランナー。経済性で魅力ある洋上風力の推進に向け、国も法改正を進めている。
- 新たな産業を創出し、地域におけるサプライチェーンの構築を目指し、経済波及効果により地域経済を活性化する。
- 風力発電関連の人材育成による雇用及び人口増加で地域活性化
- 海と砂浜を活用したアートで若い世代とともに洋上風車を発展

【中核市市長会議】

《以下の提言書等を採択》

- 多様な人材確保及び働き方改革にかかる提言
 - 公共施設等の整備等に関する提言
 - 地域公共交通の「リ・デザイン」の実現に向けた提言
 - 令和 7 年度税制改正に関する要請
- ⇒11 月 13 日に役員市・幹事市において国へ提言活動



中核市サミット秋田宣言 2024

中核市は、地域の中核都市として、地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきました。

人口減少・少子高齢化の進行や世界的な異常気象など、時代の大きな転換期を迎える中、私たち中核市は、将来にわたって持続可能なまちづくりに向けて、長く受け継がれてきた文化や歴史といった地域固有の資源に光を当て、まちの個性を磨き、未来を力強く生きていくことが求められています。

本サミットでは、「これからをつくる、これからを生きる～中核市が創る「ひと・まち・くらし」の未来～」をテーマに、「再生可能エネルギーが創るまちの未来」「芸術文化が創るまちの未来」に焦点を置いて議論を行い、次のとおり、全国の中核市が連携して取り組むこととしました。

- 1 世界的に気候変動対策の取組が急がれる中、私たち中核市は、ゼロカーボンシティの実現とともに、エネルギーの地産地活を進め、新たな産業や雇用の創出など経済と環境の好循環を生み出すことにより、「再生可能エネルギーが創るまちの未来」を目指してまいります。
- 2 地域の特色を生かした芸術文化の振興が求められる中、私たち中核市は、地域の歴史や文化を生かした芸術文化活動の推進を通じて、地域資源を掘り下げ、市民とともにまちの魅力を再発見し、新しい文化や価値の創造に取り組むことにより、「芸術文化が創るまちの未来」を目指してまいります。

中核市62市の人口は約2,249万人となり、全国における存在感と地方自治の理念の実現に向けた中核市の責任は、今後もより一層大きくなっていきます。

私たち中核市は、これからの新しい社会をつくり、そして、これからをともに生き抜いていくため、寛容でしなやかな感性を持つ「ひと」を育み、溢れる創造力で「まち」の個性と魅力を磨き上げ、心豊かで希望に満ちた「くらし」の未来を創っていくことをここに宣言します。



令和6年10月31日
中核市市長一同